

風通しの良い社内が生み出す 新たな価値

金沢区の「働きやすさ」と「居心地の良さ」が
産業の活性化を導く

子どもの授業参観のために有給休暇をとる、ライフスタイルに合った勤務時間帯を選択できる、わからないことは社内の誰にでも聞くことができる。「当たり前のように感じていましたが、働きやすい環境です」と自身が勤めるアカサカテックについて語る藤田さんと河本さんの表情は、終始にこやかだ。

アカサカテックは、mm単位で測量できる高精度なGPSを使って、建築現場の管理サポートなどを行うシステムや製品を開発・販売する企業である。日本で早くからGPSを導入し、20年も前からIoTを事業化し、「モノ」だけでなく「人」とも地域ネットワークでつながる地域共生型のビジネスを目指してきた。受託型のビジネスモデルから脱却し、地元企業と連携したビジネス展開で、産業の活性化を図る。

子どもを育てながら働く河本さんは、現在週4日9:00-15:30の勤務形態だ。職場が住まいの近くにあり、勤務時間に融通が利くからこそ、育児と仕事を両立できるという。「子どもに何

かがあってもすぐ駆けつけられるので安心して働けます」。休校の日には子どもと会社の下で待ち合わせ、一緒に昼食をとることもあるそうだ。

一方、ハローワークで見たアカサカテックの窓から広がるベイサイドエリアの写真に惹かれ、転職を決めたのは、第1営業部に配属されて1年になる藤田さん。1997年より金沢区に地盤を置き、地域と密着した関係を築いてきたアカサカテックは、2013年に横浜ベイサイドマリーナにある現在の建物に移転する。その際つながった建築事務所の会長から譲り受けたヨットは、社内のセーリング部で活用されている。「僕は月一で参加していますが、部のリーダーは毎週のように活動していますよ」。新人として奮闘する藤田さんが、社内で愛されていることは「藤坊」の愛称からもうかがえる。

アカサカテックの風通しの良い社内環境に、産業団地ならではの「働きやすさ」と「居心地の良さ」を感じた。



藤田 竜貴 Ryuki Fujita
株式会社アカサカテック 第1営業部

河本 尚子 Naoko Koumoto
株式会社アカサカテック 営業管理部(パート)

藤田 竜貴さんの 1日のスケジュール	河本 尚子さんの 1日のスケジュール
08:40 出社 メール対応、本日のToDo リスト整理	08:45 出社 社員の1日の動向を把握
09:00 朝礼	09:00 朝礼
09:10 商品の納品準備	09:10 請求書処理業務
12:00 昼食、移動	12:00 昼食
13:30 発注元へ納品	13:00 入金確認作業
16:00 営業まわり	15:30 退社
19:00 直帰	



明るく見通しの良い多目的スペース。毎朝9時から行われる朝礼や、年末に開催されるクリスマスパーティーなど、社員交流の場としても活用されている。



藤田さんが携わっている製品「HDT280」。位置情報に特化した自社開発の堅牢型Android端末。建設現場や海上などで重機や船舶に搭載され、働く現場をICTとクラウドで支えている。

株式会社アカサカテック 設立年：1988年12月 従業員数：37名
所在地：横浜市金沢区白帆4-2 マリーナプラザ3F
主な事業内容：GPSを使った物流支援・船舶などのシステム、製品の開発・販売
<http://www.akasakatec.com/>